



全国消防操法大会 須恵町消防団9位入賞!!

消防操法とは、火災現場での迅速な行動や的確な操作などを養うための基本的な訓練となるものです。

11月12日(金)に、第22回全国消防操法大会が愛知県蒲郡市で行われました。

この大会には、全国45都道府県(鹿児島、宮崎両県は、口蹄疫のため出場辞退)が集い、ポンプ車の部、小型ポンプの部に分かれて競技が行われました。

福岡県代表として、ポンプ車の部に本部分団が出場しました。須恵町消防団としては初出場でした。

本部分団は、5月中旬から練習を始め、7月の町大会、8月の地区大会、9月の県大会とすべて優勝しての出場でした。また、この半年間の訓練の集大成として臨み、9位入賞という好成績を収めました。福岡県、須恵町の消防操法技術の高さを全国に示しました。



総合指揮者として号令をかける長澤団長



入場行進をする須恵町消防団

校区コミュニティ情報 10周年記念校区コミュニティまつり

校区コミュニティまつりは、町内各小学校区を単位として、平成13年に始まりました。

10月17日(日)に、アザレアホールと健康広場で「すこやか秋まつり」が、11月7日(日)には、第二小学校で「べったんフェア」がそれぞれ行われ、両日ともに天気に恵まれ、絶好のまつり日和となりました。すこやか秋まつりの舞台では、ピアニストの水上裕子さんや須恵中学

校吹奏楽部の演奏、須恵第一小学校児童によるタップダンスなどが行われました。

べったんフェアの舞台では、恒例のもちまきや東幼稚園園児によるダンス、子どもコーラスなどが行われました。各会場ともバザー出店、作品展示、ミニゲームコーナーに多くの人が訪れ、大盛況の楽しいまつりとなりました。



すこやか秋まつりのようす



べったんフェアのようす



因さん、庄野さん 自治功労者表彰

多年にわたって須恵町の充実発展のために献身的な尽力をし、その功績が顕著であるとして、因正道さん(長礼区80歳)と庄野稔尋さん(城山区71歳)が、自治功労者表彰を受けられました。

因さんは、長礼区長(平成3年度~平成20年度)などを歴任され、民生委員・児童委員(平成4年~)、民生委員・児童委員協議会会長(平成12年度~)などに在任中です。

庄野さんは、昭和34年に本町職員として勤務され、以降39年間、議会事務局長や建設課長など歴任後、平成10年度から平成21年度まで助役(現副町長)に選任されました。



受賞された庄野さん(左) 因さん(右)

須恵第二小学校5年生 稲刈り、もちつき体験

べったんフェアのもちまきで使用したもち米は、須恵第二小学校の5年生児童たちが5月末に田植え体験、10月19日(火)に稲刈り体験して収穫したものです。

稲刈りでは今泉剛さん(甲植木区)の指導のもと、最初は戸惑い気味でしたが、要領を得ると、子どもたちはあっという間に上達し、上手に稲を刈っていました。

また、もちつきでは印藤弘次さん(旅石区)からの指導を受けながら、上手にもちをついていました。そして、まつり会場では餅つき体験をし、丸めた餅をバザー店で販売しました。



上手に稲を刈る児童たち

◎長澤慎二 団長 「消防団全国操法大会出場にあたり、中嶋町長を始め、多くの方々に応援していただき誠にありがとうございました。成績は、全国9位入賞する事ができました。操法技術は消防団として大切な基本動作です。今回の経験を活かし、消防技術の向上に頑張ります。」

◎安河内正幸 副団長 「今回、全国大会に出場した事で団員の消防技術はもとより消防に対する意識の向上が感じられました。非常に心強く、消防団活動においても十分頑張ってくれたいと思います。今回の本部分団の頑張りを心から慰労し、団員の今後益々の活躍を望みます。」

◎中牟田健 副団長 「長期の訓練、お疲れ様でした。全国大会だからといって大きな差があると思えず、本番で練習どおりに出来るかではないでしょうか。次回、全国大会に再び須恵町の名があると信じます。」

◎田原重治 分団長 「私にとって最高の団員たちに恵まれ、一丸となって大会に挑んできました。半年もの間、各家庭を支えてくれたご家族、忙しい中練習に向いてくださった分団長たちに深く感謝申し上げます。」

◎石津伸篤 指揮者 「私の出場する機会としては最後の大会が、このような素晴らしい結果で締め括ることができたのも、ご指導およびご支援いただいた人たちのお陰だと深く感謝しております。これからもこの経験を地域防災のために活かす所存です。」

◎川上仁史 1番員 「全国大会出場に際し、ご指導・応援してくださった皆さんに感謝申し上げます。念願の優勝旗を持ち帰ることはできませんでしたが、経験を糧に今後も精進してまいります。最後にいちばんの理解者である家族に感謝!」

◎吉田良喜 2番員 「初の全国大会に出場し、私にとって本当にすごい経験をさせて頂きました。これからの消防団活動に役立てていきたいと思えます。また、大会に至るまで、ご指導頂いた人たちに感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。」

◎田原秀則 3番員 「今までご指導・応援してくださった皆さんありがとうございました。目標の全国制覇は達成できませんでしたが、この経験を今後活かして頑張りますので、これからもよろしくお願ひします。」

◎早田剣史 4番員 「数年前まで、全国大会は雲をつかむようなことでした。操作用としてそこに立てたことが幸せです。この経験を生かし地域の安全・安心を守るため、これからも精進していきたいと思えます。応援ありがとうございました!」